

## 研究・調査報告書

|   |                     |
|---|---------------------|
| 報告書番号   | 担当                  |
| 3 3   | 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 |
| 題名 (原題/訳)   |                     |
| Caffeine, alcohol, smoking, and the risk of incident epithelial ovarian cancer.<br>カフェイン、アルコール、喫煙と卵巣がん発症との関連  |                     |
| 執筆者   |                     |
| Tworoger SS, Gertig DM, Gates MA, Hecht JL, Hankinson SE.   |                     |
| 掲載誌 (番号又は発行年月日)   |                     |
| Cancer. 2008 Mar 1;112(5):1169-77.  |                     |
| キーワード   |                     |
| 卵巣癌、カフェイン、アルコール、喫煙、コーヒー、お茶  |                     |
| 要 旨   |                     |
| <p>目的：<br/>喫煙、カフェイン、アルコールは卵巣がんに影響を与える可能性があるがその関連はよく分かっていない。そこで、これらの関係について明らかにするために Nurses' Health Study の参加者 110454 名を対象に喫煙との関係について、80253 名を対象に食事との関係について検討した。</p> <p>方法：<br/>参加者は 1976 年から二年おきに質問票を返送した。食事についての質問は 1980 年から 2 年または 4 年おきに行われた。喫煙の解析では 737 名の卵巣がん患者が、食事調査の対象者では 507 名の卵巣がん患者が 2004 年の 6 月 1 日までに登録された。</p> <p>結果：<br/>非喫煙者と比較して喫煙者、禁煙者では卵巣がんに関連を認めなかったが、粘液性卵巣がんでは禁煙者(2.02(95%CI:1.15-3.55))、喫煙者(2.22(1.16-4.24))でリスクの上昇を認めた。カフェイン摂取と卵巣がんの間には弱い逆の関連を認めた(0.80(0.60-1.07))。この関係は経口避妊薬を使用していない女性で(0.65(0.46-0.92))あるいは閉経後ホルモン補充療法をしていない女性で(0.57(0.36-0.91))で強く認めた。アルコールは卵巣癌のリスクとの有意な関係は認めなかった。</p> <p>結論：<br/>この結果から喫煙は粘液性卵巣がんのみリスクの上昇を認めたがアルコールの摂取と卵巣がんのリスクと関連しない可能性を示唆している。しかしカフェイン摂取と卵巣がんの間に特にホルモンを使用していない女性で逆の関連を認めた。</p> |                     |